

ClassBrain
obs
みどりびゅう

S2 S-System2

HMI システム操作
(共通)説明書

図書番号:S260-50

Ver23.0 改訂:1

目次

1. はじめに	5
1.1 HMI システムに関わる説明書について	6
1.2 本書で使用している記号	7
2. 注意事項	8
3. 起動と停止について	10
3.1 HMI システムの起動方法	10
3-1-1. サーバーの起動	10
3-1-2. クライアントの起動	11
3-1-3. サーバー/クライアント兼用構成の起動	12
3.2 HMI システムが起動できない場合	13
3.3 HMI システムの停止方法	14
3-3-1. HMI システムのアクセスレベル権限の変更	14
3-3-2. HMI システムの停止	15
4. 画面構成について	16
4-1. 画面構成について	16
4-2. 上部ツールバーについて	18
4-2-1. 警報表示エリア	18
4-2-2. 各ボタンについて	22
4-3. 下部ツールバーについて	24
4-3-1. フェースプレート検索画面	29
4-3-2. パラメータ検索画面	31
4-3-3. TEST(模擬入力)パラメータ検索画面	34
4-3-4. アクセス権限の変更について	37
4-4. 1 画面モード	38
4-4-1. 左側メニューエリア	38
4-4-2. 右側メニューエリア	40
4-5. 4 画面モード	43
4-5-1. メニュー機能切り替え方法	43
4-5-2. メニュー機能 1	44
4-5-3. メニュー機能 2	45
4-5-4. メニュー機能 3	47
4-6. ワイドモード	48

4-6-1. メニュー機能切り替え方法.....	48
4. 補足:サブグラフィックメニューについて	49
5. 各画面機能について.....	51
5-1. 警報状態.....	51
5-1-1. 警報検索・設定エリア.....	51
5-1-2. 警報表示エリア	53
5-2. 警報履歴.....	55
5-2-1. 警報履歴検索・設定エリア	55
5-2-2. 警報履歴表示エリア	59
5-2-3. 詳細検索について.....	61
5-3. 帳票.....	64
5-3-1. 帳票検索・設定エリア	64
5-3-2. 帳票表示エリア.....	68
5-3-3. 帳票修正	69
5-3-4. 帳票登録.....	71
5-4. グループ	80
5-4-1. 20 グループ版.....	80
5-4-2. 8 グループ版.....	86
5-4-3. グループ登録.....	89
5-5. グラフィック	94
5-5-1. アナログ値表示	94
5-5-2. デジタル値表示.....	95
5-5-3. クリックメニュー表示.....	96
5-5-4. 付箋表示.....	97
5-6. トレンド.....	101
5-6-1. トレンドグラフページ変更・登録エリア.....	101
5-6-2. トレンドグラフ表示エリア	105
5-6-3. 基本設定	112
5-6-4. トレンド登録.....	114
5-7. タグモニタ.....	119
5-7-1. タグモニタページ変更・登録エリア	119
5-7-2. タグモニタ表示エリア.....	122
5-7-3. タグモニタ登録	124
5-8. イベント履歴.....	129
5-8-1. イベント履歴検索・設定エリア	129
5-8-2. イベント履歴表示エリア	133

5-8-3. 詳細検索について.....	135
5-9. 操作履歴.....	138
5-9-1. 操作履歴検索・設定エリア.....	138
5-9-2. 操作履歴表示エリア.....	142
5-9-3. 詳細検索について.....	144
5-10. SW Utility(MEL Utility/CS Utility).....	147
5-10-1. PLC 変更エリア.....	148
5-10-2. PLC データ表示エリア.....	148
6. 各画面機能(オプション)について.....	153
7. システムについて.....	154
7-1. シャットダウン関連.....	156
7-2. 外部起動設定.....	157
7-3. 時刻設定関連.....	159
7-4. メニュー関連.....	160
7-5. フェースプレート関連.....	163
7-6. スケジュール関連.....	165
7-7. 設定同期.....	169
7-8. 接続関連.....	173
7-9. サーバー詳細.....	175
8. 保守について.....	177
8-1. バックアップ.....	177
8-1-1. 操作方法.....	178
8-2. 履歴データと帳票データについて.....	179
8-2-1. 履歴データ使用上の禁止事項.....	179
8-2-2. 警報履歴データ.....	179
8-2-3. イベントデータ.....	179
8-2-4. 操作ログデータ.....	179
8-2-5. オペガイド履歴データ.....	179
8-2-6. トレンド・帳票用履歴データ.....	180
8-2-7. 帳票保存データ.....	181
8-3. トラブルについて.....	181
8-3-1. 定期的の実施が必要な項目について.....	182
8-4. システム修正について.....	182
8-4-1. グラフィック画面のトラブルについて.....	182
8-4-2. システム関連のトラブルについて.....	182
改訂履歴.....	183

1. はじめに

この度は、「S2(S-System2)/GlassBrain/obs/みどりびゅう」(以下、HMI システムとします。)を
採用していただき、誠に有難うございます。

HMI システム操作説明書(以下、本書とします。)は、上記 HMI システムを操作される方を対象とした説明書です。
監視、操作を行う際に、お読み頂き、正しくお使いください。

○商標及び著作権など

HMI システム及び HMI システム操作説明書は、京都 EIC 株式会社の著作物です。
従って、HMI システム及び、HMI システム操作説明書の一部又は全部を無断で
複製、複写、転載、改変する事は法律で禁じられています。
HMI システム操作説明書の内容は将来、予告無しに変更することがあります。

1.1 HMI システムに関わる説明書について

HMI システムに関わる説明書は下記内容があります。

1.HMI システム操作説明書関連:

HMI システムの操作に関わる説明をします。

HMI システムの機能は契約内容により種別が異なります。

種別としては以下の内容があります。

1-1. HMI システム操作(共通)説明書:HMI システムの運用における操作説明をします。

1-2. HMI システム操作(オプション)説明書:HMI システムのオプション機能における操作説明をします。

2.HMI システムフェースプレート説明書関連:

HMI システムで利用するフェースプレートに関わる説明をします。

HMI システムフェースプレートは契約内容により種別が異なります。

種別としては以下の内容があります。

2-1. HMI システムフェースプレート(共通)説明書:デジタル/アナログフェースプレート説明をします。

2-2. HMI システムフェースプレート(オプション)説明書:特定特殊用途のフェースプレート説明をします。

①補足:システム構成、契約内容によっては、HMI システムフェースプレート(オプション)説明書は付属しません。

1.2 本書で使用している記号

本書では、安全に関する次のようなシンボルマークとシグナル用語を使用しています。

:警告

回避しないと、重傷を招く恐れがある危険な状況か、または物的被害が発生する危険な状況が生じることが予見される場合に使う記号です。

本書ではそのような場合その危険を避けるための注意事項を記載しています。

:注意

計器を破損したり、システムトラブルになる恐れがあったりする場合に、注意すべき事柄を記載しています。

:注記

操作や機能を知る上で、注意すべき事柄を記載しています。

:補足

操作や機能を知る上で、補足すべき事柄を記載しています。

:ヒント

操作や機能を知る上で、ヒントとなる事柄を記載しています。

:参考

操作や機能を知る上で、参考となる事柄を記載しています。

2. 注意事項

システム構成、契約内容によって、本書で記載している操作機能が、搭載されない場合があります。

HMI システムを操作するにあたって、下記の注意事項があります。

ⓘ: 注意

- ・Windows の設定は変更しないでください。
HMI システムが不安定になります。
 - ・工場出荷時にインストールされたアプリケーションを削除及びアンインストールしないでください。
HMI システムが動作できなくなります。
 - ・弊社指定以外のアプリケーションをインストールしないでください。
HMI システムが不安定になります。
 - ・PC の USB に、ウイルスチェックしていない USB メモリや、USB 機器(スマートフォンなど)を接続しないでください。
不要なドライバがインストールされ、HMI システムが不安定になります。
 - ・インターネット接続はしないでください。
Windows Update により、監視、操作ができなくなります。また、HMI システムが起動できなくなる恐れがあります。
 - ・HMI システム運用中に、下記フォルダ内については、ファイルを開いたり、削除したり、改編したファイルを上書きすることは禁止とします。
HMI システムが破損し起動できなくなる恐れがあります。
(対象となるフォルダ)
C:¥[ProjectJobName]¥Conf¥以下のフォルダとファイル
C:¥[ProjectJobName]¥LOG¥以下のフォルダとファイル
C:¥[ProjectJobName]¥SYSTEM¥以下のフォルダとファイル
-

☑ :注記

本書では、HMI システムの標準とする内容にて説明を行います。
カスタマイズによっては、本書内容と異なる場合があります。

HMI システムの標準構成について

機能:

警報状態、警報履歴、帳票(標準仕様)、グループ、グラフィック、トレンド、タグモニタ、イベント履歴、操作履歴
SW Utility、システム

警報名称:

警報グループ:警報、システム

警報レベル(色):緊急(マゼンタ)、重警報(赤)、中警報(オレンジ)、軽警報(黄色)、情報(シアン)

監視表示色:

SP:緑、PV:シアン、MV:黄色

3. 起動と停止について

HMI システムの起動と停止について説明をします。

3.1 HMI システムの起動方法

HMI システムの起動方法には、以下の種類があります。

システム構成、契約内容により、PC 電源 ON で、サーバーが自動起動する場合があります。

- 1.サーバーの起動
- 2.クライアントの起動
- 3.サーバー/クライアント兼用構成の起動

3-1-1. サーバーの起動

- 1.PC の電源を入れ、しばらく待ちます。
- 2.Windows が起動後、以下の2通りの方法で起動を行います。
 - ・Windows デスクトップにある“システム起動”アイコンをダブルクリックします。



- ・C:¥[ProjectJobName]¥SYSTEM¥Tool¥SystemStart.exe、又は、
C:¥[ProjectJobName]¥SYSTEM¥Tool¥StartupServer.exe をダブルクリックします。
- ①補足: SystemStart.exe は、PC のネットワーク接続環境や PLC 接続状態の動作チェックし、システム起動します。
StartupServer.exe は、PC のネットワーク接続環境や PLC 接続状態の動作チェック無しに起動します。

- 3.しばらくすると、HMI システムが起動します。
 - ①補足: 起動画面は、契約内容により画像が異なります。



3-1-2. クライアントの起動

クライアントの起動は、複数の種類を用意しています。
システム構成にあった起動方法を参照してください。

○サーバーが単独の場合

1. PC の電源を入れ、しばらく待ちます。
2. Windows が起動後、以下の2通りの方法で起動を行います。
 - ・Windows デスクトップにある“システム起動”アイコンをダブルクリックします。



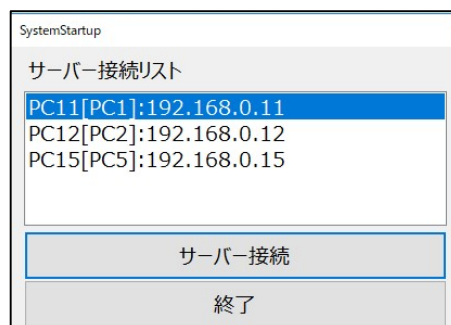
- ・C:\¥[ProjectJobName]\¥SYSTEM\¥Tool\¥SystemStart.exe をダブルクリックします。
3. しばらくすると、HMI システムが起動します。

○サーバーが複数の場合

1. PC の電源を入れ、しばらく待ちます。
2. Windows が起動後、以下の2通りの方法で起動を行います。
 - ・Windows デスクトップにある“システム起動”アイコンをダブルクリックします。



- ・C:\¥[ProjectJobName]\¥SYSTEM\¥Tool\¥SystemStart.exe をダブルクリックします。
3. しばらくすると、サーバー接続メニューが起動します。



4. 接続するサーバーを選択し、“サーバー接続”ボタンをクリックし、しばらくすると、HMI システムが起動します。

3-1-3. サーバー/クライアント兼用構成の起動

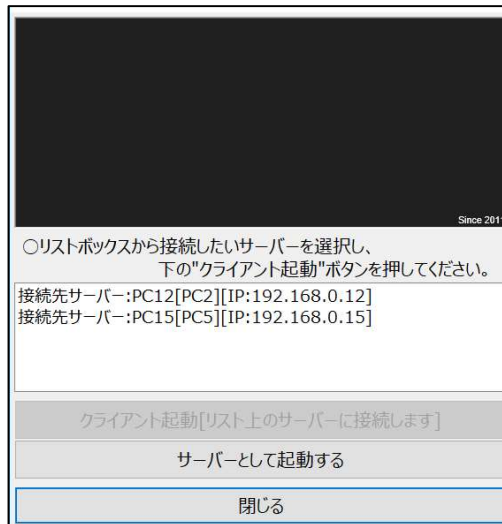
PC に、サーバーとクライアント兼用構成の場合は、以下の方法で起動します。

1. PC の電源を入れ、しばらく待ちます。
2. Windows が起動後、以下の2通りの方法で起動を行います。
 - ・Windows デスクトップにある“システムメニュー起動”アイコンをダブルクリックします。

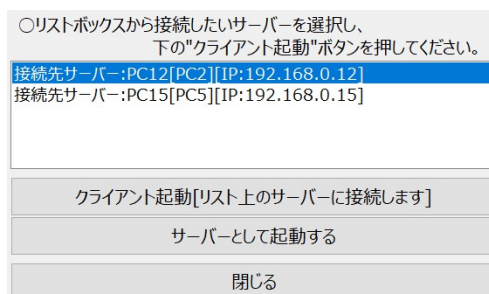


3. しばらくすると、サーバー接続メニューが起動します。

①補足: 起動画面は、契約内容により画像が異なります。



4. サーバーとして起動する場合は、“サーバーとして起動する”ボタンをクリックします。
クライアントとして起動する場合は、接続したいサーバーを選択し、“クライアント起動”ボタンをクリックします。



5. しばらくすると、HMI システムが起動します。

3.2 HMI システムが起動できない場合

起動しない場合は、以下の原因が考えられます。

原因を取り除いた後、PC を再起動してください。

1. PC と PLC が LAN 接続されていない。

- ・PC や、HUB、制御盤内の HUB、PLC のイーサネットケーブルのコネクタ部分の緩み
- ・HUB や制御盤内の HUB の電源が入っていない。

2. PC の IP アドレスが変更された。

- ・IP アドレスが正しく設定されているか確認してください。

3. ネットワーク上に同一の IP アドレスを持つ機器が追加された。

- ・機器をネットワークから外してください。

4. デモモード起動のダイアログボックスが表示されていた。

USB ライセンスキーが認識されていない。

→USB ライセンスキーが PC 背面にささっているか確認をし、抜き差しを行ってください。

3.3 HMI システムの停止方法

HMI システムの停止については、HMI システムのアクセスレベル権限を変更してから HMI システムの停止を行います。

HMI システムの停止方法は以下の手順で停止します。

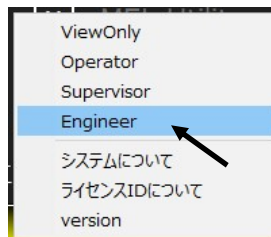
3-3-1. HMI システムのアクセスレベル権限の変更

HMI システムのアクセスレベル権限は、以下の手順で変更します。

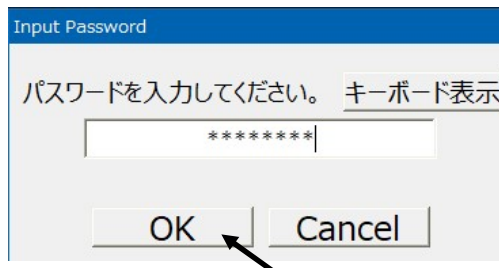
1. 画面右下の現在のアクセスレベル権限の表示エリアをクリックします。



2. メニューが表示されます。“Engineer”をクリックします。



3. パスワードダイアログボックスが表示されます。パスワードを入力し“OK”ボタンをクリックします。
パスワードについては、HMI システムの管理者へ、お問い合わせください。



4. 指定のアクセスレベル権限に変更します。



3-3-2. HMI システムの停止

HMI システムの停止は、以下の手順で変更します。

HMI システムが終了すると、値の監視、データ収集、警報通知の機能も停止します。

PLC 制御に影響はありません。

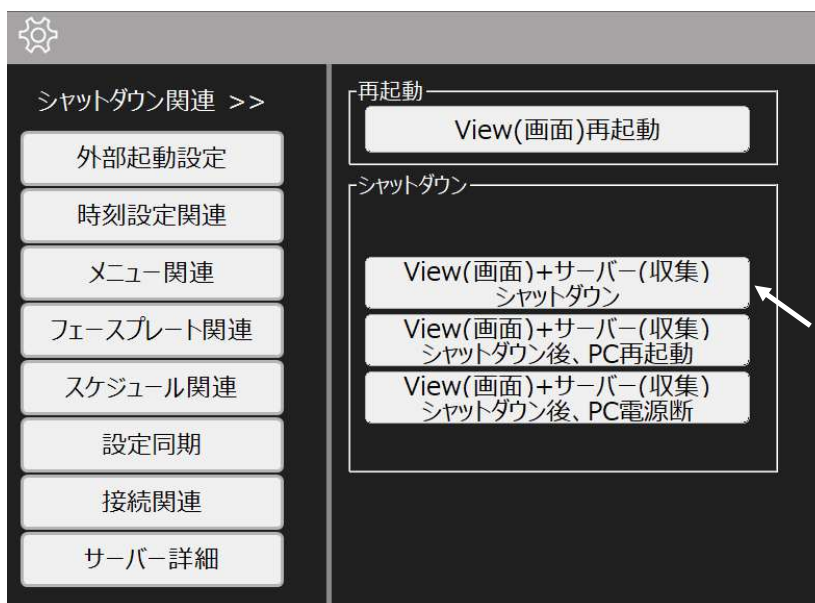
1. 画面右上の“システム”ボタンをクリックします。



2. “シャットダウン関連”画面が表示されます。

“View(画面)+サーバー(収集)シャットダウン”ボタンをクリックすると、ダイアログボックス画面が表示されます。

次に、“Yes”ボタンをクリックします。



①補足:HMI システムの停止は、他に、以下の種類があります。

- ・“View(画面)+サーバー(収集)シャットダウン後、PC 再起動”:HMI シャットダウン後、PC 再起動します。
- ・“View(画面)+サーバー(収集)シャットダウン後、PC 電源断”:HMI シャットダウン後、PC 電源 OFF します。

3. しばらくすると HMI システムは終了します。

4. 画面構成について

画面構成は、1画面モード、4画面モードが用意されています。

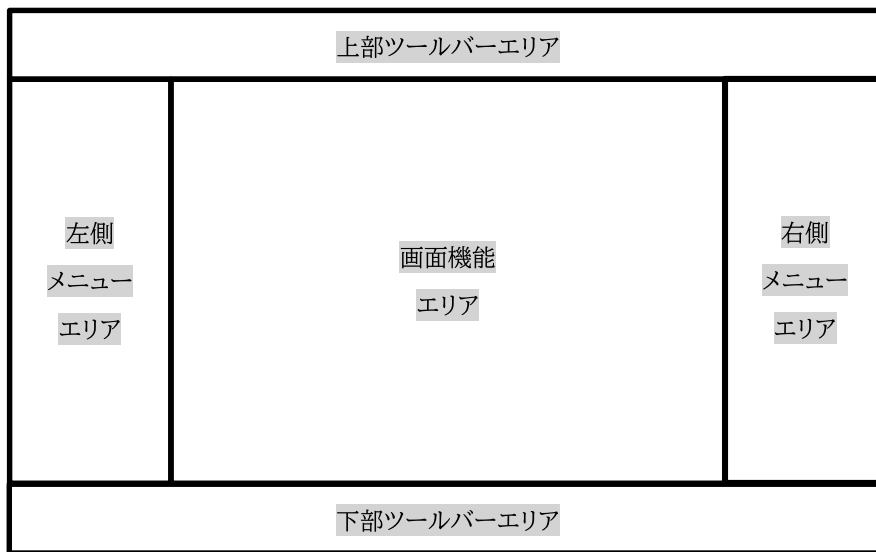
①補足:システム構成、契約内容により、4画面モードは、利用できない場合があります。

4-1. 画面構成について

各画面モード概要の説明をします。

○1画面モードの構成

1画面の画面機能が利用できるモードです。



下部ツールバーの左右端にある左右メニューエリア表示/非表示ボタンにて、メニューエリアの表示を変更することができます。

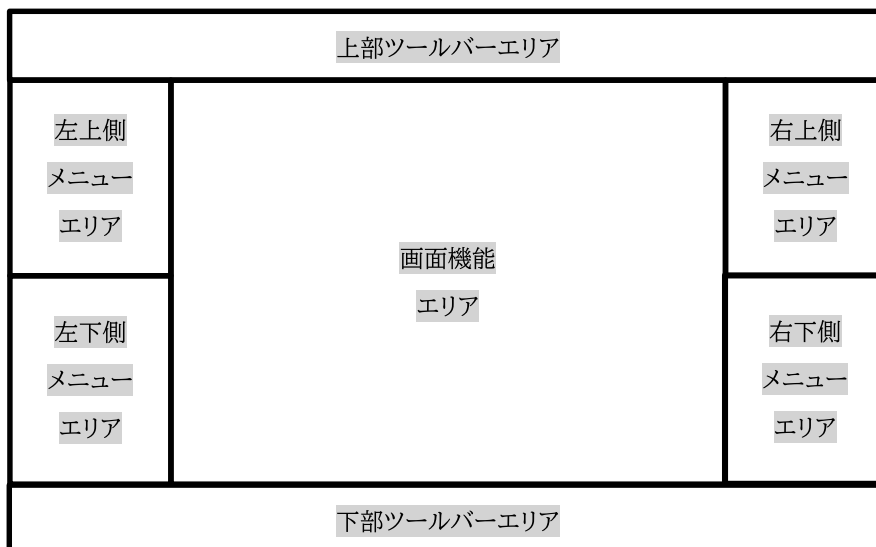
☑:注記

左右メニューエリアを非表示すると、画面構成上、一部の画面において、縦横縮尺比の崩れがあります。

○4 画面モードの構成

4画面の画面機能が利用できるモードです。

大型モニタ利用に適しています。



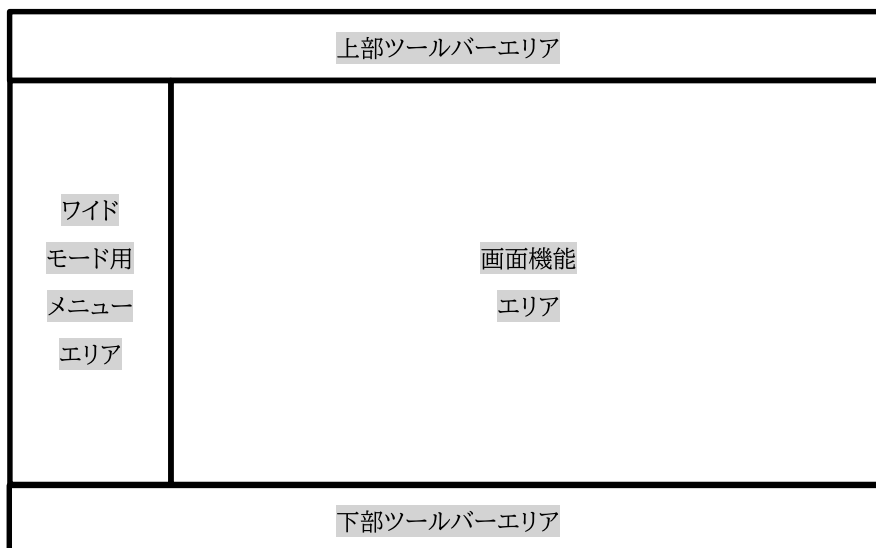
○ワイドモードの構成

1画面の右メニューが消えた分、画面機能が拡張して利用できます。

グラフィック画面を横長に拡張する場合に適しています。

①補足:システム構成、契約内容により、利用できない場合があります。

①補足:ワイドモード選択時は、4画面モードの切替えは、利用できません。



☑ :注記

画面構成上、一部の画面において、縦横縮尺比の崩れがあります。

4-2. 上部ツールバーについて

上部ツールバーは、各画面モード共通仕様です。

上部ツールバーエリアの画面構成を説明します。

①補足: オペガイド(オプション)機能追加時は、表示項目が異なります。

オペガイドを利用した際の内容については、6-4. オペガイドを参照してください。

①補足: システムステータス(オプション)機能追加時は、表示項目が異なります。

システムステータスを利用した際の内容については、6-3. システムステータスを参照してください。



発生日時	復旧日時	確認日時	グループ	レベル	内容
2017/10/26 10:01:02		2017/10/26 10:01:14	システム	緊急	[PLCCOM(NX2)]:PLC通信異常(NX2)
2017/10/26 10:01:02		2017/10/26 10:01:14	システム	緊急	[PLCCOM(NX1)]:PLC通信異常(NX1)
2017/10/26 10:00:34		2017/10/26 10:00:38	警報	重警報	[MTIC_3]溶解室天井温度3::LL(下限)Value:800
2017/10/26 10:00:34		2017/10/26 10:00:38	警報	中警報	[MTIC_3]溶解室天井温度3::L(下限)Value:800

各機能について説明をします。

4-2-1. 警報表示エリア



発生日時	復旧日時	確認日時	グループ	レベル	内容
17/10/26 10:01:02		17/10/26 10:01:14	システム	緊急	[PLCCOM(NX2)]:PLC通信異常(NX2)
17/10/26 10:01:02		17/10/26 10:01:14	システム	緊急	[PLCCOM(NX1)]:PLC通信異常(NX1)
17/10/26 10:00:34		17/10/26 10:00:38	警報	重警報	[MTIC_3]溶解室天井温度3::LL(下限)Value:800
17/10/26 10:00:34		17/10/26 10:00:38	警報	中警報	[MTIC_3]溶解室天井温度3::L(下限)Value:800

現在の警報状態を表示します。

4件の警報状態を表示します。5件以上の警報状態を参照する場合は、右側のスクロールバーをマウスでドラッグしスクロール移動します。

①補足: 警報グループ名称、警報レベル名称、警報色は、システム構成、契約内容により異なる場合があります。

①補足: オペガイド(オプション)機能追加時は、表示項目が異なります。

警報表示項目は以下の通りです。

発生日時: 警報状態が発生した日時

復旧日時: 警報状態が復旧した日時

確認日時: 警報状態を確認した日時

グループ: 警報グループ名 (システム標準構成時: 全体、警報、システム)

レベル: 警報レベル名 (システム標準構成時: 情報、軽警報、中警報、重警報、緊急)

内容: 警報状態発生した内容を表示します。

表示内容は、[タグ名]:名称:警報状態 となります。

アナログ表示等一部は、[タグ名]:名称::警報状態 Value:警報発生時の値 となります。

警報レベルによって、表示色が異なります。

表示色について、システム標準構成時は、以下の通りです。

①補足: 警報レベル色は、システム構成、契約内容により異なる場合があります。

緊急: マゼンタ

重警報: 赤

中警報: オレンジ

軽警報: 黄色

情報: シアン

警報状態により、文字色/背景色が変化します。

警報有+確認済: 文字色: 警報レベル色 / 背景色: 白色

警報有+未確認: 文字色: 白色 / 背景色: 警報レベル色

警報復帰済: 文字色: 警報レベル色 / 背景色: 灰色

○警報表示エリアの警報状態をクリックすると、該当するフェースプレートが表示されます。

○警報表示エリアの警報状態を右クリックし選択状態にした後、右クリックメニューが表示されます。

2017/10/26 10:00:34		2017/10/26 10:00:3	
2017/10/26 10:00:34		2017	警報状態
			グループ
			トレンド
			比較トレンド
			コメント

警報状態: 警報状態へ画面展開します。

グループ: 選択状態のタグに該当するグループへ画面展開します。

①補足: システム構成、契約内容により、利用できない場合があります。

トレンド: 選択状態のタグに該当するトレンドへ画面展開します。

比較トレンド: 選択状態のタグに該当する比較トレンドへ画面展開します。

①補足: システム構成、契約内容により、利用できない場合があります。

コメント: タグに関してメッセージを残す場合に利用します。

①補足: システム構成、契約内容により、利用できない場合があります。

音声: タグの警報名称を音声でお知らせします。

①補足: システム構成、契約内容により、利用できない場合があります。

①補足: Windows 音声ドライバを用いて文字列の読み上げをします。

Windows 音声ドライバが文字列の認識を誤変換する可能性があります。

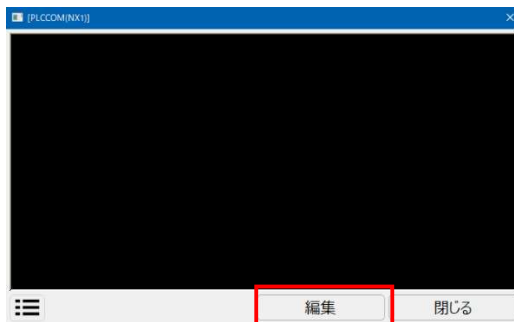
Windows 音声ドライバ(英語)は英数字のみ読み上げます。

ひらがな文字だけのメッセージは、Windows 音声ドライバ(日本語以外)は変換ができない為、読み上げることはできません。

○コメントの編集方法は、以下の手順で編集します。

1. コメント表示をした後、“編集”ボタンをクリックします。

(アクセス権限が Supervisor 以上の場合、設定項目の変更を行うことができます。)




2. 画面が白色に反転し、文字を編集することができます。



3. 編集完了後、“保存”ボタンをクリックします。

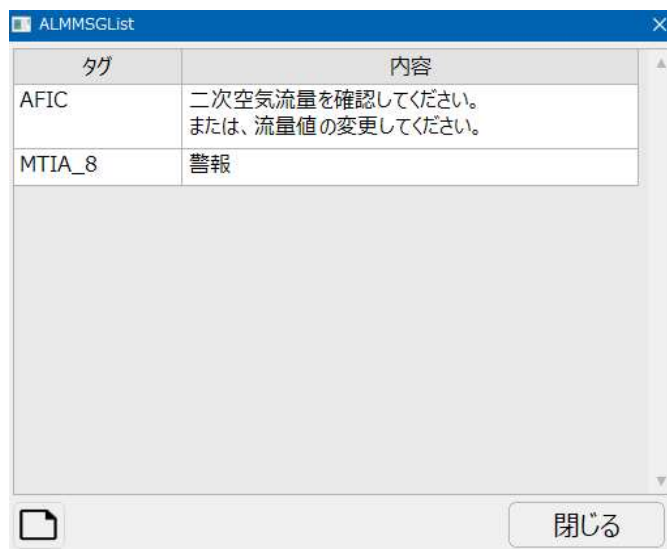
他に、画面左下のリストアイコン①をクリックすることで、登録したコメント一覧を表示することができます。

:リストアイコン①

○コメント一覧画面について

登録したコメント内容を一覧表示します。

①補足:複数行にわたるコメント内容については、行の境界線をマウスでドラッグし広げることで参照することができます。



機能について以下に説明します。

- ・コメントファイルの保存場所参照



コメントファイルが保存されている場所をファイルエクスプローラで開きます。

- ・サーバーとのファイル取込



接続されているサーバーに保存されているコメントファイルを取込みます。

※クライアント機能のみ表示

※取込した際、クライアントで保存されているコメントファイルは削除されます。

- ・“閉じる”ボタン:ダイアログボックスを閉じます。

4-2-2. 各ボタンについて

上部ツールバーの各ボタンについて説明します。

○“消音”ボタン



警報音を消音します。警報音発生中、黄色で点滅します。

マウスカーソルを“消音”ボタン上に移動すると、現在の未確認警報数が表示されます。

①補足:現在の未確認警報数は、システム構成、契約内容により表示されない場合があります。

“消音”ボタンをクリックすると、“警報表示エリア”の表示が、先頭行へスクロールします。

○“確認”ボタン



警報を確認します。

マウスカーソルを“確認”ボタン上に移動すると、現在の警報数が表示されます。

①補足:現在の警報数は、システム構成、契約内容により表示されない場合があります。

警報が存在する場合、赤色で点灯します。

警報が未確認の場合、文字色が白/ピンクで点滅します。

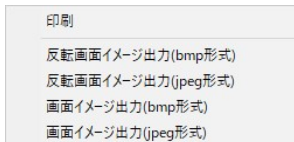
“確認”ボタンをクリックすると、“警報表示エリア”の表示が、先頭行へスクロールします。

○“印刷”ボタン



画面を白黒反転印刷します。

“印刷”ボタンを右クリックすると、右クリックメニューが表示され、印刷に関する機能が利用できます。



印刷: 画面を通常印刷します。

反転画面イメージ出力(bmp形式): 反転画面イメージを bmp 形式でファイル出力します。

反転画面イメージ出力(jpeg形式): 反転画面イメージを jpeg 形式でファイル出力します。

画面イメージ出力(bmp形式): 画面イメージを bmp 形式でファイル出力します。

画面イメージ出力(jpeg形式): 画面イメージを jpeg 形式でファイル出力します。

○“システム”ボタン



システム設定や HMI のシャットダウンを行う画面へ展開します。

4-3. 下部ツールバーについて

下部ツールバーは、各画面モード共通仕様です。

下部ツールバーエリアの画面構成を説明します。



各機能について説明をします。

○右側メニューエリア表示/非表示ボタン(1画面モードかつワイドモードが選択されていない場合)

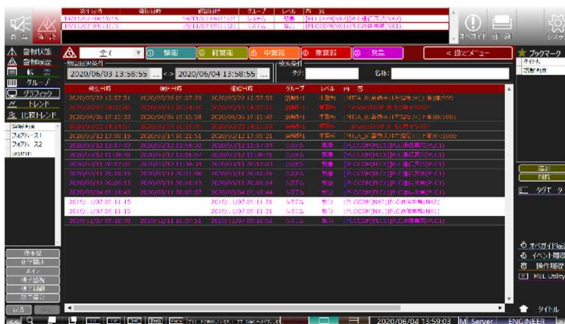


右側メニューエリア画面機能エリアを拡大します。

拡大した画面は右、下にスクロールバーが表示されます。スクロールバーを利用し画面スクロールすることができます。

拡大方法は、以下の手順で行います。

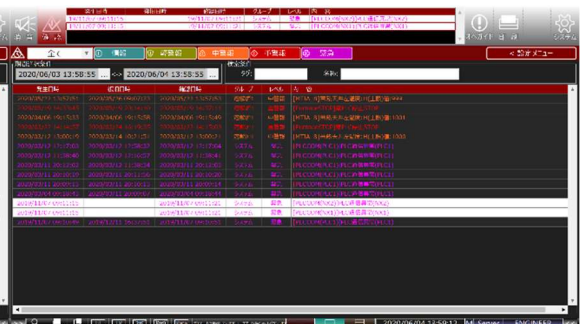
・通常1画面モード



・左側メニュー非表示状態



・左右メニュー非表示状態



・メニュー非表示にした際のメリットは以下の通りです。

警報状態・履歴画面、各種履歴画面:長い名称をスクロール無しで、参照できます。

帳票画面:帳票設定項目が多い場合、スクロール無しで、参照できます。

トレンド・比較トレンド画面:長めのグラフ表示で見やすくなります。(表示可能なプロット数は固定)

: 注記

画面構成上、一部の画面において、縦横縮尺比の崩れがあります。

○画面機能エリア拡大ボタン

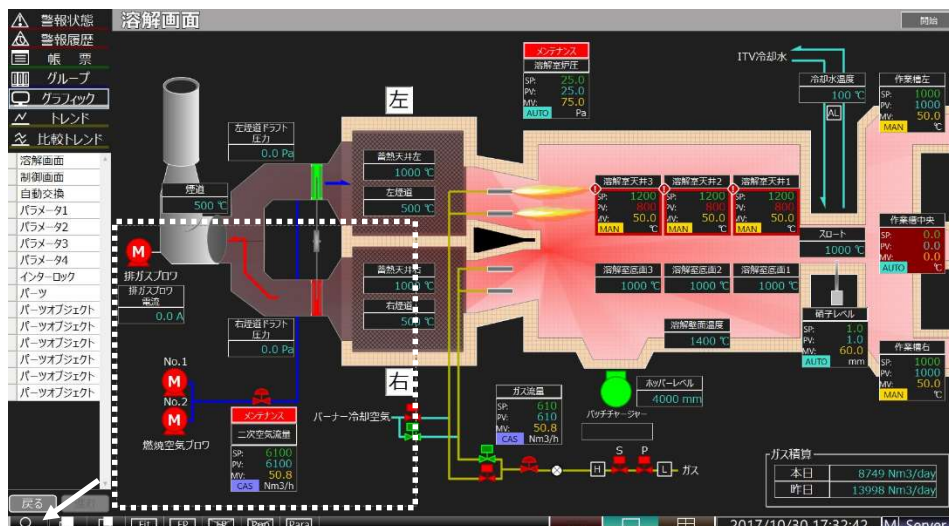


画面機能エリアを拡大します。

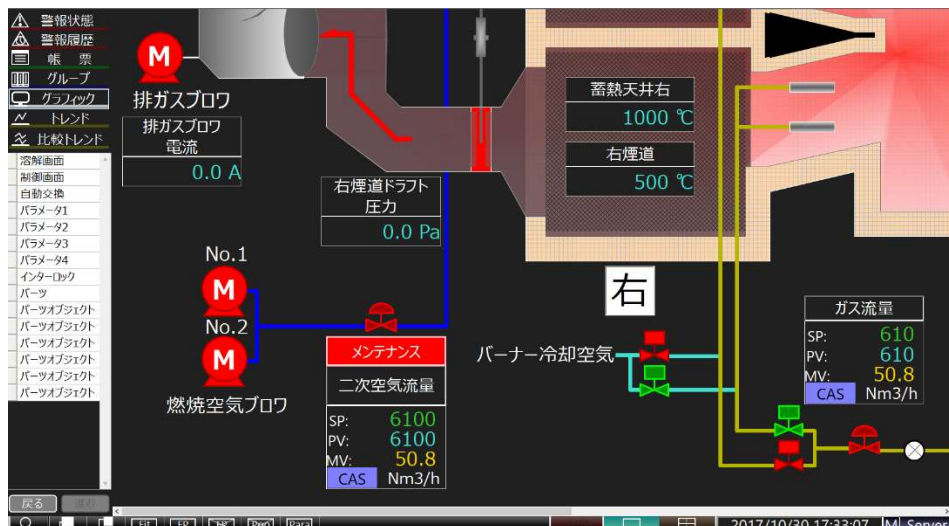
拡大した画面は右、下にスクロールバーが表示されます。スクロールバーを利用し画面スクロールすることができます。

拡大方法は、以下の手順で行います。

1. 画面機能エリア拡大ボタンをクリックし、画面機能エリアの拡大したい部分をドラッグして囲みます。



2. マウスボタンを離すと拡大します。



○画面機能エリア等倍拡大ボタン



画面機能エリアを等倍に拡大します。

拡大した画面は右、下にスクロールバーが表示されます。スクロールバーを利用し画面スクロールすることができます。

○画面機能エリア等倍縮小ボタン



画面機能エリアを等倍に縮小します。

- 画面機能エリア拡大リセットボタン



画面機能エリアの拡大をリセットします。

- フェースプレート検索ボタン



フェースプレート検索画面を表示します。

指定したフェースプレートを呼び出すことができます。

フェースプレート検索画面については、“4-3-1. フェースプレート検索画面”を参照してください。

- ポップアップフェースプレート全消去ボタン



画面に表示しているポップアップフェースプレートを全て消去します。

- ポップアップ画面全消去ボタン



画面に表示しているポップアップ画面を全て消去します。

- パラメータ検索ボタン



パラメータ検索画面を表示します。

パラメータ値を条件指定したフェースプレートを呼び出すことができます。

パラメータ検索画面については、“4-3-2. パラメータ検索画面”を参照してください。

- TEST(模擬入力)検索ボタン



TEST(模擬入力)検索ボタンをクリックすると、TEST(模擬入力)パラメータ検索画面を表示します。

TEST(模擬入力)パラメータにおいて、TEST(模擬入力)状態のパラメータがあれば、赤点灯します。

TEST(模擬入力)パラメータ検索画面については、“4-3-3. TEST(模擬入力)パラメータ検索画面”を参照してください。

- 1画面モードボタン



1画面モードへ切替します。

- 4画面モードボタン



4画面モードへ切替します。

- ①補足:システム構成、契約内容により、利用できない場合があります。

○PC マスタ状態ランプ



PC マスタ状態であれば、“M”ランプが点灯され、PC マスタでない場合は、“M”ランプが消灯します。
複数台のサーバー構成の場合、“M”ランプ点灯のサーバーPC が時刻マスタとなり、他のサーバーPC へ時刻同期します。

全てのサーバーPC が“M”ランプ点灯している場合は、PC 間の時刻同期はしません。

○PC ノード表示

PC のノード表示をします。



Server:PC が、サーバーPC の場合は、“Server”表示されます。



Client:PC が、クライアント接続している場合は、“Client”表示されます。

○アクセス権限表示

HMI システムのアクセス権限を表示します。

①補足:システム構成、契約内容により、アクセス権限の範囲が異なります。

アクセス権限は、以下の種別があります。



VIEWONLY:監視のみ操作できます。制御操作や、HMI システムの設定に関わる操作はできません。



OPERATOR:監視と制御操作の基本的な操作ができます。HMI システムの設定に関わる操作はできません。



SUPERVISOR:監視と制御操作ができます。HMI システムの設定に関わる操作が一部設定ができます。



ENGINEER:監視と制御操作ができます。HMI システムの設定ができます。

アクセス権限表示をクリックすると、メニュー表示します。



ViewOnly:アクセス権限を VIEWONLY に変更します。

OPERATOR 以上の権限から変更する場合は、パスワード不要です。

Operator:アクセス権限を OPERATOR に変更します。

SUPERVISOR 以上の権限から変更する場合は、パスワード不要です。

Supervisor:アクセス権限を SUPERVISOR に変更します。

ENGINEER 以上の権限から変更する場合は、パスワード不要です。

Engineer:アクセス権限を ENGINEER に変更します。

アクセス権限の変更については、“4-3-4. アクセス権限の変更について”を参照してください。

システムについて:HMI システムについての概要を表示します。

ライセンス ID について:HMI システムのライセンス ID を表示します。

Version:株式会社ロボティクスウェア製 PA-Panel の version を表示します。

○状態表示

下部ツールバー中央に、HMI システムのライセンス状態を表示します。

ライセンス USB が挿していない。故障した場合は以下のメッセージが表示されます。

デモモードで動作しています。: 90 分後シャットダウンします。

以下の対処で改善しない場合は、京都 EIC 株式会社までご連絡ください。

- ・PC の再起動
- ・ライセンス USB の挿し直し

4-3-1. フェースプレート検索画面

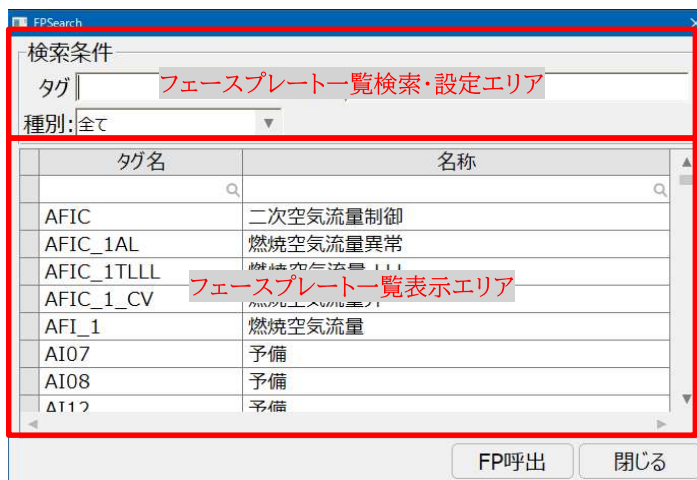
フェースプレート検索を行います。

条件にあったタグのフェースプレート一覧を表示します。

フェースプレートは最大8個まで画面に表示できます。

①補足: システム構成、契約内容により、最大個数が異なる場合があります。

(画面構成)



検索完了後、画面下側の各ボタンをクリックしてください。

“FP 呼出”ボタン: 選択したタグのフェースプレートを呼出します。複数選択は可能です。

“閉じる”ボタン: ダイアログボックスを閉じます。

(フェースプレート一覧検索・設定エリア)

検索条件項目

-検索条件-

タグ:	<input type="text"/>	名称:	<input type="text"/>
種別:	全て		

タグの絞込を行うことができます。

タグ: タグ名称を検索します。(検索文字の部分一致での絞込となります。)

名称: 名称を検索します。(検索文字の部分一致での絞込となります。)

種別: タグフェースプレート種別で絞込します。(タグフェースプレート種別は、C:¥[ProjectJobName]¥SYSTEM¥Tag¥Tag.xlsx のシート名の種類があります)

! : 注意

HMI システムのタグ情報の元となるファイル(tag.xlsx)内容を、変更、削除しないでください。

HMI システムの誤動作となる恐れがあります。

(フェースプレート一覧表示・検索・ソート エリア)

検索条件に合致したタグのフェースプレートを表示します。

フェースプレート一覧リスト

タグ名	名称
AFIC	二次空気流量制御
AFIC_1AL	燃焼空気流量異常
AFIC_1TLLL	燃焼空気流量 LLL
AFIC_1_CV	燃焼空気流量弁
AFI_1	燃焼空気流量
AI07	予備
AI08	予備
AI12	予備

フェースプレート表示可能なリストを表示します。

リストをダブルクリックすると、選択したタグのフェースプレートを呼出すことができます。

項目名の下に行は、検索エリアとなります。

各列で検索する名称を入力し、エンターキーを入力すると、一覧リスト内で検索することができます。

検索解除を行う場合は、左端の列に表示されている“×”をクリックしてください。

タグ名	名称
×	温度
FLG1	温度調節選択
FTIA 14	FH1 SPV1-、温度

各列でソート(並び替え)を行う場合は、該当する列の項目名をクリックすることで、ソート(並び替え)することができます。

昇順であれば、項目名の右端に上矢印、降順であれば、項目名の右端に下矢印で表示します。

ソート(並び替え)解除を行う場合は、左端の列に表示されている“×”をクリックしてください。

×	タグ名	名称	▲
×		温度	×
	WTI_3	作業槽右温度	
	WTI_?	作業槽中温度	

4-3-2. パラメータ検索画面

パラメータ検索を行います。

条件にあったタグのフェースプレート一覧を表示します。

フェースプレートは最大8個まで画面に表示できます。

①補足:システム構成、契約内容により、最大個数が異なる場合があります。

(画面構成)

パラメータ検索画面の構成要素:

- パラメータ条件: 種類: PV, >=, 値 1000, 検索
- 検索条件: タグ, 名称
- 検索結果一覧表:

タグ名	名称
AFIC	二次空気流量制御
AFI_1	燃焼空気流量
HLVA_1	ホッパーレベル
HLV_1	溶解炉圧制御[帳票最小用]
MND2400	燃焼空気流量制御[帳票最小用]
MND2402	予備[帳票最小用]
MND2404	溶解室炉圧制御[帳票最小用]SP
MND2406	
- 操作ボタン: FP呼出, 閉じる

検索完了後、画面下側の各ボタンをクリックしてください。

“FP 呼出”ボタン: 選択したタグのフェースプレートを呼出します。複数選択は可能です。

“閉じる”ボタン: ダイアログボックスを閉じます。

(パラメータ検索・設定エリア)

パラメータ条件項目



パラメータの絞込を行うことができます。

種別:パラメータ種別を選択します。コンボボックス内から選択してください。

条件式は、以下の内容があります。

“==”:等しい

“>=:以上

“<=:以下

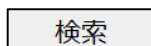
“!=”:等しくない

値は、以下の内容が設定できます。

アナログ値の場合は、数値

デジタル値の場合は、T(TRUE)か F(FALSE)

○“検索”ボタン



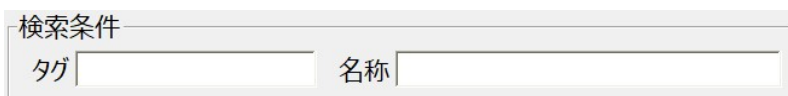
パラメータ条件設定後、“検索”ボタンをクリックすると、検索に合致したフェースプレート一覧が表示されます。

例:アナログ値の場合の検索について

アナログ値の検索例として、SP パラメータが 5000 以上の値を検索する場合は、下図のように設定をします。



検索条件



タグの絞込を行うことができます。

タグ:タグ名称を検索します。(検索文字の部分一致での絞込となります。)

名称:名称を検索します。(検索文字の部分一致での絞込となります。)

(フェースプレート一覧表示・検索・ソート エリア)

検索条件に合致したタグのフェースプレートを表示します。

フェースプレート一覧リスト

タグ名	名称
AFIC	二次空気流量制御
AFIC_1AL	燃焼空気流量異常
AFIC_1TLLL	燃焼空気流量 LLL
AFIC_1_CV	燃焼空気流量弁
AFI_1	燃焼空気流量
AI07	予備
AI08	予備
AI12	予備

フェースプレート表示可能なリストを表示します。

リストをダブルクリックすると、選択したタグのフェースプレートを呼出すことができます。

項目名の下に行は、検索エリアとなります。

各列で検索する名称を入力し、エンターキーを入力すると、一覧リスト内で検索することができます。

検索解除を行う場合は、左端の列に表示されている“×”をクリックしてください。

タグ名	名称
×	温度
FLG1	温度調節選択
FTIA 14	FH1 SP1)ー、温度

各列でソート(並び替え)を行う場合は、該当する列の項目名をクリックすることで、

ソート(並び替え)することができます。

昇順であれば、項目名の右端に上矢印、降順であれば、項目名の右端に下矢印で表示します。

ソート(並び替え)解除を行う場合は、左端の列に表示されている“×”をクリックしてください。

×	タグ名	名称
×	温度	
	WTI_3	作業槽右温度
	WTI 2	作業槽中温度

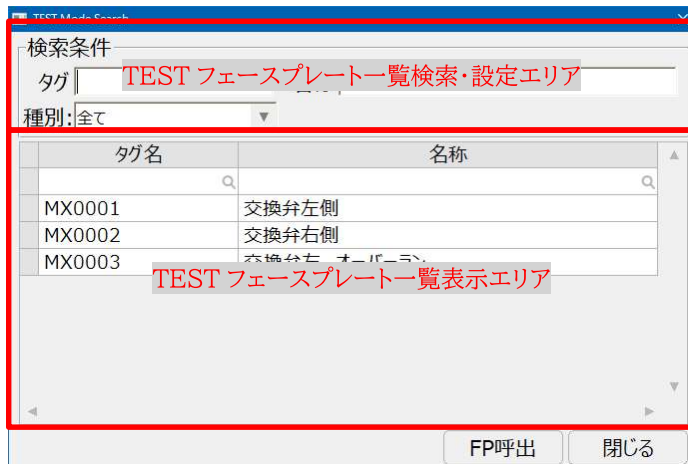
4-3-3. TEST(模擬入力)パラメータ検索画面

TEST(模擬入力)状態にあるフェースプレート検索を行います。

フェースプレートは最大8個まで画面に表示できます。

①補足:システム構成、契約内容により、最大個数が異なる場合があります。

(画面構成)



検索完了後、画面下側の各ボタンをクリックしてください。

“FP 呼出”ボタン:選択したタグのフェースプレートを呼出します。複数選択は可能です。

“閉じる”ボタン:ダイアログボックスを閉じます。

(TEST(模擬入力)フェースプレート一覧検索・設定エリア)

検索条件項目

-検索条件-	
タグ:	名称:
種別: 全て	

タグの絞込を行うことができます。

タグ: タグ名称を検索します。(検索文字の部分一致での絞込となります。)

名称: 名称を検索します。(検索文字の部分一致での絞込となります。)

種別: タグフェースプレート種別で絞込します。(タグフェースプレート種別は、
C:¥[ProjectJobName]¥SYSTEM¥Tag¥Tag.xlsx のシート名の種類があります)

⚠:注意

HMI システムのタグ情報の元となるファイル(tag.xlsx)内容を、変更、削除しないでください。

HMI システムの誤動作となる恐れがあります。

(TEST(模擬入力)フェースプレート一覧表示・検索・ソート エリア)

検索条件に合致したタグのフェースプレートを表示します。

フェースプレート一覧リスト

タグ名	名称
AFIC	二次空気流量制御
AFIC_1AL	燃焼空気流量異常
AFIC_1TLLL	燃焼空気流量 LLL
AFIC_1_CV	燃焼空気流量弁
AFI_1	燃焼空気流量
AI07	予備
AI08	予備
AI12	予備

フェースプレート表示可能なリストを表示します。

リストをダブルクリックすると、選択したタグのフェースプレートを呼出すことができます。

項目名の下のは、検索エリアとなります。

各列で検索する名称を入力し、エンターキーを入力すると、一覧リスト内で検索することができます。

検索解除を行う場合は、左端の列に表示されている“×”をクリックしてください。

タグ名	名称
×	温度
FLG1	温度調節選択
FTIA 14	FH1 SP)→、温度

各列でソート(並び替え)を行う場合は、該当する列の項目名をクリックすることで、

ソート(並び替え)することができます。

昇順であれば、項目名の右端に上矢印、降順であれば、項目名の右端に下矢印で表示します。

ソート(並び替え)解除を行う場合は、左端の列に表示されている“×”をクリックしてください。

タグ名	名称
×	温度
WTI_3	作業槽右温度
WTI 2	作業槽中温度

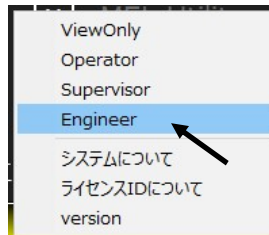
4-3-4. アクセス権限の変更について

HMI システムのアクセスレベル権限は、以下の手順で変更します。

1. 画面右下の現在のアクセスレベル権限の表示エリアをクリックします。

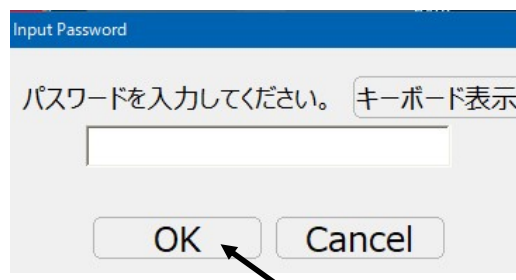


2. メニューが表示され、“Engineer”をクリックします。



3. パスワードダイアログボックスが表示され、パスワードを入力し“OK”ボタンをクリックします。

パスワードについては、HMI システムの管理者へ、お問い合わせください。



4. 指定のアクセスレベル権限に変更します。



4-4.1 画面モード

画面構成は、上部、下部ツールバーエリア、左側、右側メニューエリア、画面機能エリアで構成されています。

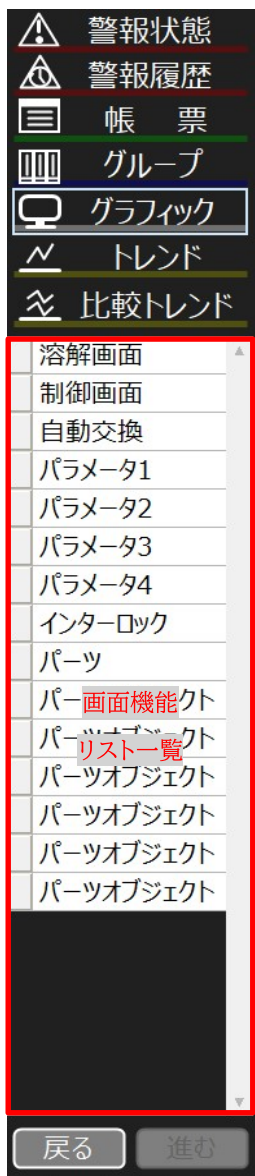
上部ツールバーエリアは、“4-2. 上部ツールバーについて”を参照してください。

下部ツールバーエリアは、“4-3. 下部ツールバーについて”を参照してください。

左側、右側メニューエリアについて、説明をします。

4-4-1. 左側メニューエリア

左側メニューエリアの画面構成を説明します。



警報状態:現在の警報状態を表示します。

アイコンをクリックすると、警報状態画面をポップアップ表示します。

警報履歴:警報履歴を表示します。

アイコンをクリックすると、警報履歴画面をポップアップ表示します。

帳票:帳票画面を表示します。

名称部分をクリックすると、画面機能リスト一覧に、帳票グループ一覧を表示します。

①補足:システム構成、契約内容により、利用できない場合があります。

グループ:グループ画面を表示します。

名称部分をクリックすると、画面機能リスト一覧に、グループ一覧を表示します。

①補足:システム構成、契約内容により、利用できない場合があります。

グラフィック:グラフィック画面を表示します。

名称部分をクリックすると、画面機能リスト一覧に、グラフィック一覧を表示します。

トレンド:トレンドグラフ画面を表示します。

名称部分をクリックすると、画面機能リスト一覧に、トレンドグループ一覧を表示します。

比較トレンド:比較トレンドグラフ画面を表示します。

名称部分をクリックすると、画面機能リスト一覧に、比較トレンドグループ一覧を表示します。

①補足:システム構成、契約内容により、利用できない場合があります。

戻る:1つ前の画面に戻ります。

進む:1つ先に画面を進めます。

(画面機能リスト一覧)

溶解画面
制御画面
自動交換
パラメータ1
パラメータ2
パラメータ3
パラメータ4
インターロック
パーツ
画面機能
リスト一覧
パーツオブジェクト
パーツオブジェクト
パーツオブジェクト
パーツオブジェクト
パーツオブジェクト

各画面機能名称をクリックすると、画面機能に該当するグループ一覧を表示します。

画面展開するグループの名称をクリックし、画面展開をします。

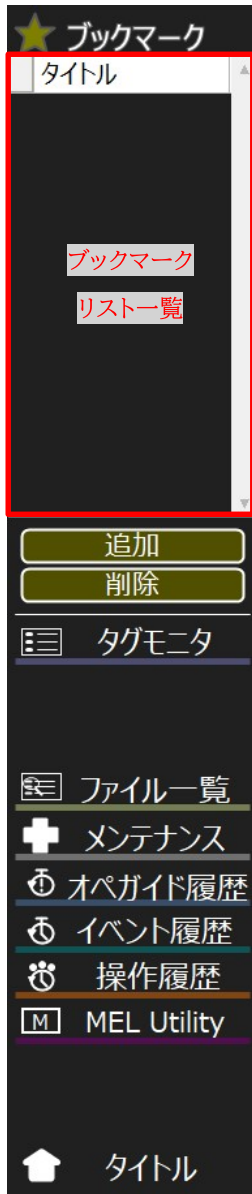
左側にある灰色のボタンは、グループ名称のポップアップ画面を表示します。

①補足:ポップアップ画面は最大2画面です。

システム構成、契約内容により、最大表示画面数が異なる場合があります。

4-4-2. 右側メニューエリア

右側メニューエリアの画面構成を説明します。



ブックマーク:よく利用する画面を登録することができます。

(画面呼出し)

ブックマークリスト一覧をクリックし、画面展開をします。

左側にある灰色のボタンは、画面名称のポップアップ画面を表示します。

①補足:ポップアップ画面は最大2画面です。

システム構成、契約内容により、最大表示画面数が異なる場合があります。

追加:ブックマークの追加を行うボタンです。

後にブックマークの追加と削除方法を説明します。

削除:ブックマークの削除を行うボタンです。

後にブックマークの追加と削除方法を説明します。

タグモニタ:現在のタグ状態のグループをメニュー表示します。

アイコンをクリックすると、タグモニタ画面をポップアップ表示します。

ファイル一覧:特定のフォルダ内のファイルを一覧表示することができます。

アイコンをクリックすると、ファイル一覧画面をポップアップ表示します。

①補足:システム構成、契約内容により、利用できない場合があります。

メンテナンス:登録機器の使用開始時期と、検査時期、交換時期を一覧表示することができます。

アイコンをクリックすると、メンテナンス画面をポップアップ表示します。

①補足:システム構成、契約内容により、利用できない場合があります。

オペガイド履歴:オペガイド履歴を表示します。

アイコンをクリックすると、オペガイド履歴画面をポップアップ表示します。

①補足:システム構成、契約内容により、利用できない場合があります。

イベント履歴:イベント履歴を表示します。

アイコンをクリックすると、イベント履歴画面をポップアップ表示します。

①補足:システム構成、契約内容により、利用できない場合があります。

操作履歴:操作履歴を表示します。

アイコンをクリックすると、操作履歴画面をポップアップ表示します。

①補足:システム構成、契約内容により、利用できない場合があります。

MEL Utility:三菱電機株式会社製 PLC の内部データ参照用画面を表示します。

アイコンをクリックすると、MEL Utility 画面をポップアップ表示します。

①補足:システム構成、契約内容により、利用できない場合があります。

①補足:アクセス権限が SUPERVISOR 以上で参照が可能です。

アクセス権限が ENGINEER 以上で設定が可能です。

OMR Utility:オムロン株式会社製 PLC の内部データ参照用画面を表示します。

アイコンをクリックすると、OMR Utility 画面をポップアップ表示します。

①補足:システム構成、契約内容により、利用できない場合があります。

①補足:アクセス権限が SUPERVISOR 以上で参照が可能です。

アクセス権限が ENGINEER 以上で設定が可能です。

タイトル:タイトル画面を表示します。

アイコンをクリックすると、タイトル画面をポップアップ表示します。

(ブックマーク追加・削除方法)

○ブックマークの追加は以下の手順で行います。

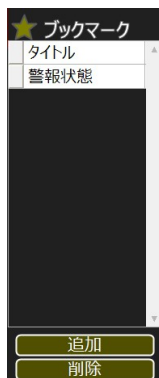
1. 追加する画面機能を表示し、“追加”ボタンをクリックします。

例:警報状態画面を追加します。



2. ブックマークに画面が登録されます。

例:“警報状態”画面が登録されます。

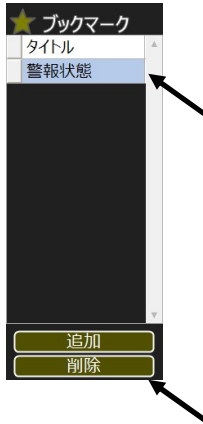


○ブックマークの削除は以下の手順で行います。

1. 削除する画面機能を選択し、“削除”ボタンをクリックします。

例：警報状態画面を削除します。

①補足：画面が選択中の状態で削除ができます。（選択中状態は画面選択後、3秒で解除されます。）



2. ブックマークから選択した画面機能が削除されます。

(タグモニタの表示について)

タグモニタはグループ名を選択し表示することができます。

1. タグモニタをクリックします。



2. グループ表が表示されます。グループ名をクリックし、画面表示します。

左側にある灰色のボタンは、選択したグループ名のタグモニタをポップアップ画面表示します。



①補足：“タグモニタ”部分をダブルクリックすると、最初のグループ名の画面を表示します。

4-5.4 画面モード

画面構成は、上部、下部ツールバーエリア、左上側、左下側、右上側、右下側メニューエリア、画面機能エリアで構成されています。

上部ツールバーエリアは、“4-2. 上部ツールバーについて”を参照してください。

下部ツールバーエリアは、“4-3. 下部ツールバーについて”を参照してください。

左上側、左下側、右上側、右下側は、メニュー内容を機能切替します。

4-5-1. メニュー機能切り替え方法

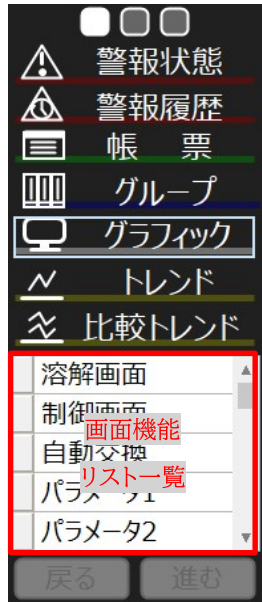
左上側、左下側、右上側、右下側は、メニュー内容は、メニュー上側の□ボタンで切り替えを行います。

メニュー機能は、3種類あります。以下に説明します。



4-5-2. メニュー機能1

メニュー機能1の画面構成を説明します。



□ボタン:メニュー機能を切り替えます。

■は現在選択中の機能です。

警報状態:現在の警報状態を表示します。

アイコンをクリックすると、警報状態画面をポップアップ表示します。

警報履歴:警報履歴を表示します。

アイコンをクリックすると、警報履歴画面をポップアップ表示します。

帳票:帳票画面を表示します。

名称部分をクリックすると、画面機能リスト一覧に、帳票グループ一覧を表示します。

①補足:システム構成、契約内容により、利用できない場合があります。

グループ:グループ画面を表示します。

名称部分をクリックすると、画面機能リスト一覧に、グループ一覧を表示します。

①補足:システム構成、契約内容により、利用できない場合があります。

グラフィック:グラフィック画面を表示します。

名称部分をクリックすると、画面機能リスト一覧に、グラフィック一覧を表示します。

トレンド:トレンドグラフ画面を表示します。

名称部分をクリックすると、画面機能リスト一覧に、トレンドグループ一覧を表示します。

比較トレンド:比較トレンドグラフ画面を表示します。

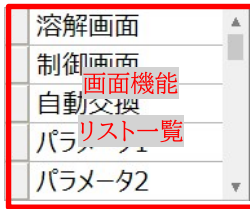
名称部分をクリックすると、画面機能リスト一覧に、比較トレンドグループ一覧を表示します。

①補足:システム構成、契約内容により、利用できない場合があります。

戻る:1つ前の画面に戻ります。

進む:1つ先に画面を進めます。

(画面機能リスト一覧)



各画面機能名称をクリックすると、画面機能に該当するグループ一覧を表示します。

画面展開するグループの名称をクリックし、画面展開をします。

左側にある灰色のボタンは、グループ名称のポップアップ画面を表示します。

①補足:ポップアップ画面は最大2画面です。

システム構成、契約内容により、最大表示画面数が異なる場合があります。

4-5-3. メニュー機能 2

メニュー機能 2 の画面構成を説明します。



□ボタン:メニュー機能を切り替えます。

■は現在選択中の機能です。

ブックマーク:よく利用する画面を登録することができます。

(画面呼出し)

ブックマークリスト一覧をクリックし、画面展開をします。

左側にある灰色のボタンは、画面名称のポップアップ画面を表示します。

①補足:ポップアップ画面は最大2画面です。

システム構成、契約内容により、最大表示画面数が異なる場合があります。

追加:ブックマークの追加を行うボタンです。

後にブックマークの追加と削除方法を説明します。

削除:ブックマークの削除を行うボタンです。

後にブックマークの追加と削除方法を説明します。

戻る:1つ前の画面に戻ります。

進む:1つ先に画面を進めます。

(ブックマーク追加・削除方法)

○ブックマークの追加は以下の手順で行います。

1. 追加する画面機能を表示し、“追加”ボタンをクリックします。

例：警報状態画面を追加します。



2. ブックマークに画面が登録されます。

例：“警報状態”画面が登録されます。



○ブックマークの削除は以下の手順で行います。

1. 削除する画面機能を選択し、“削除”ボタンをクリックします。

例：警報状態画面を削除します。

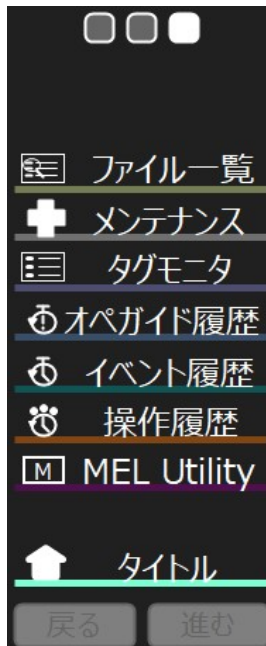
①補足：画面が選択中の状態で削除ができます。(選択中状態は画面選択後、3秒で解除されます。)



2. ブックマークから選択した画面機能が削除されます。

4-5-4. メニュー機能 3

メニュー機能 3 の画面構成を説明します。



□ボタン:メニュー機能を切り替えます。

■は現在選択中の機能です。

ファイル一覧:特定のフォルダ内のファイルを一覧表示することができます。

アイコンをクリックすると、ファイル一覧画面をポップアップ表示します。

①補足:システム構成、契約内容により、利用できない場合があります。

メンテナンス:登録機器の使用開始時期と、検査時期、交換時期を一覧表示することができます。

アイコンをクリックすると、メンテナンス画面をポップアップ表示します。

①補足:システム構成、契約内容により、利用できない場合があります。

タグモニタ:現在のタグ状態を一覧表示します。

アイコンをクリックすると、タグモニタ画面をポップアップ表示します。

オペガイド履歴:オペガイド履歴を表示します。

アイコンをクリックすると、オペガイド履歴画面をポップアップ表示します。

①補足:システム構成、契約内容により、利用できない場合があります。

イベント履歴:イベント履歴を表示します。

アイコンをクリックすると、イベント履歴画面をポップアップ表示します。

①補足:システム構成、契約内容により、利用できない場合があります。

操作履歴:操作履歴を表示します。

アイコンをクリックすると、操作履歴画面をポップアップ表示します。

①補足:システム構成、契約内容により、利用できない場合があります。

MEL Utility:三菱電機株式会社製 PLC の内部データ参照用画面を表示します。

アイコンをクリックすると、MEL Utility 画面をポップアップ表示します。

①補足:システム構成、契約内容により、利用できない場合があります。

①補足:アクセス権限が SUPERVISOR 以上で参照が可能です。

アクセス権限が ENGINEER 以上で設定が可能です。

OMR Utility:オムロン株式会社製 PLC の内部データ参照用画面を表示します。

アイコンをクリックすると、OMR Utility 画面をポップアップ表示します。

①補足:システム構成、契約内容により、利用できない場合があります。

①補足:アクセス権限が SUPERVISOR 以上で参照が可能です。

アクセス権限が ENGINEER 以上で設定が可能です。

タイトル:タイトル画面を表示します。

アイコンをクリックすると、タイトル画面をポップアップ表示します。

戻る:1つ前の画面に戻ります。

進む:1つ先に画面を進めます。

4-6. ワイドモード

画面構成は、上部、下部ツールバーエリア、左側メニューエリア、画面機能エリアで構成されています。

上部ツールバーエリアは、“4-2. 上部ツールバーについて”を参照してください。

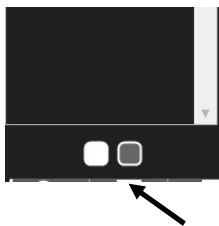
下部ツールバーエリアは、“4-3. 下部ツールバーについて”を参照してください。

左側、右側は、メニュー内容を機能切替します。

4-6-1. メニュー機能切り替え方法

左側、右側は、メニュー内容は、メニュー下側の□ボタンで切り替えを行います。

メニュー機能は、2種類あります。以下に説明します。



4. 補足:サブグラフィックメニューについて

画面数の多いシステム構成用途に、グラフィックメニュー以外に、サブグラフィックメニューがあります。

サブグラフィックメニューは最大6系統のメニューを利用することができます。

①補足:システム構成、契約内容により、サブグラフィックメニューの利用できない場合があります。

①参考:サブグラフィックメニュー設定ファイルは、以下の場所にあります。ファイル利用は参照のみとして下さい。

C:¥[ProjectJobName]¥SYSTEM¥Custom¥Custom.xlsx の Common シートの 21 行目～
29 行目にあります。

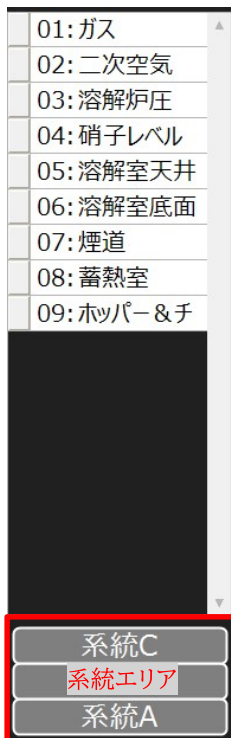
! :注意

サブグラフィックメニューの元となるファイル(Custom.xlsx)内容を、変更、削除しないでください。

HMI システムが誤動作する恐れがあります。

機能について説明をします。

通常のグラフィックメニュー下に系統メニューボタンが追加されます。



(系統エリアについて)

系統エリアは、最大 6 系統、登録画面数は最大 50 画面となります。

系統ボタンをクリックすると、系統別グラフィックメニューが表示され、メニュー内の画面名をクリックすると画面展開します。

画面数が多いシステム構成で、系統が幾つかに分岐している用途に利用します。

警報ボタンは、アクセス権限による使用制限も可能です。

用途により、アクセス権限の変更をすることができます。

○1画面モード時

“系統エリア”ボタンをクリックした時、下図のサブグラフィックメニューが表示されます。

再度、“系統エリア”ボタンをクリックすると、サブグラフィックメニューが非表示になります。



○4 画面モード時

ブックマーク表示場所に、系統メニューボタンが表示されます。

“系統エリア”ボタンをクリックした時、下図のサブグラフィックメニューが表示されます。

再度、“系統エリア”ボタンをクリックすると、サブグラフィックメニューが非表示になります。

